

2011.12.23 12.04 中間報告会のまとめ(メーリングリスト、原田、山本)

Date: Mon, 05 Dec 2011 10:31:22 +0900

From: "HARADA TAI" <tharada@japan.email.ne.jp>

Subject: [main:00275] 中間報告会(12月4日)のまとめ

つくば市民白書 2012 実行委員会の皆様
原田です。

昨日 12月4日(土)、白書 2012 中間報告会は出席者 7名と少かったのですが、現在でている原稿を中心に時間をかけて意見交換を行い、白書 2012 の概要が浮かび上がってきたと思います。

(1) 原稿作成状況

12月4日までに出了された原稿は以下の通りです。

00 巻頭論文 緒方章宏 (第2稿)

01 市政と議会

01-01 自治基本条例 野口修 (構想)

01-05 風車問題 河村俊次 (途中)

02 財政

02-01 つくば市の財政問題 亀山大二郎 (目次案)

03 医療と福祉

03-02 若年性認知症支援 渡辺隆生 (第1稿)

04 教育と文化

04-01 統計・調査、中学校教育の課題 寺門宏倫 (第1稿)

04-04 特別支援学校、教育課題 寺門宏倫 (第1稿)

05 まちづくり

05-02 高齢化・過疎化する地域の問題点 小川矩宏 (第1稿)

05-03 自転車及安全快適に使えるまちに 矢作榮一 (途中)

05-05 地域防災対策とつくば行政 高松邦夫 (第2稿)

06 環境

06-10 アダプト・ア・パーク 飛澤 誠 (第1稿)

12月4日の資料では総ページ数は183ページ(前回140ページ)ですが、今後増減があるはず
です。

(2) 中間報告会の感想

綿密な考察を行った論文が多く、現在のつくば市政の(つまりつくば市民の)課題を明確に描き出す白書となりそうな感触がありました。

(3) 主査副査体制

編集委員会では各章の原稿のチェックと編集を行うために主査副査体制を取ることにしました。

章	主査	副査
1	野口	亀山
2	亀山	原田
3	横井	寺門
4	寺門	横井
5	河村	野口
6	矢澤	早川
7	原田	学研労協
8	早川	矢澤
9	学研労協	河村
10	(未定)	(未定)

また野崎さんに編集委員会に加わってもらい、最終編集を手伝ってもらうことになりました。

(4) 予定

12月15日(木) 第1稿締め切り

12月24日(土) 10:00-12:00 第17回編集委員会、(第5回編集委員会)

2012年

1月 第1次稿完成、構成検討、追加原稿、頒布計画作成

2月 第2次稿完成、出版シンポジウム準備

3月 最終稿完成、印刷屋へ出稿

4月 完成、記念シンポジウム、頒布開始

2011年12月5日

Date: Mon, 5 Dec 2011 18:20:27 +0900

From: 山本千秋 <yamasen@nifty.com>

Subject: [main:00277] Re: 中間報告会(12月4日)のまとめ

原田様、編集委員のみなさま

山本(編集)

昨日は報告会と編集委員会ご苦勞様でした。

原田さん、さっそく議事録をまとめていただきありがとうございました。

下記、編集委員会における主査、副査体制などに関して、補足をします。

1. この体制は、08白書の時に做ったものです。これから、原稿が届くようになると、執筆者とのやりとりを経て順次完成原稿に仕上げていくこととなります。編集委員が複数の目で原稿を読ませていただき、的確なコメントなどでよりよい原稿に仕上げていくために、前回に引き続き、主、副査体制をとることにしたものです。

2. なお、昨日欠席された各章担当編集委員の方がおられますが、副査としていずれの章を担当していただくかについて、事前了解を得ずに、一応の決めを行いました。特に事情があり、他の章の副査をご希望される場合は委員同士で、または、山本・原田・河村のいずれかにお申し出下さい。可能な限り調整いたします。

3. 原稿の校正など編集作業については、各章担当編集委員の方々がそれぞれの章の提出原稿について、主査として校正や執筆者とのやりとりなどに責任を持ちますが、副査の方も原稿の校正などに共同して取り組んでいただきます。

4. 編集委員長山本の任務は、主・副査が著者とやりとりしておおむね OK と判断された原稿について、最終チェックをするというのが、建前です。しかし、時間の節約を考慮すると、主・副査が、執筆者に最後の問い合わせを行う直前の原稿に、山本も目を通し、執筆者へのコメントがあればメモを作り、それを含めて最終問い合わせを行う、というやり方がいいように思われます。

5. それでも、完成原稿になるまでには、さまざまな手直しなどが続きます。印刷屋さんが手を入れてくれるわけではなく、我々が原版となる版下を作成しますので、写真や図表の位置などの体裁を含めて、最後の原稿の調整を行うために、08白書で力を発揮された実行委員の野崎さんに、フリーの編集委員として入っていただきました。

来年の3月末に、印刷屋さんに完成原稿を出稿できることをひたすら願い、編集委員会の役割を果たしていきたいと思っております。

どうぞよろしく願いいたします。

なお、まだ執筆が未確定の課題も残っています。

コラム「よりよい市政へ、私の一言」の執筆者探しもこれからです。コラム執筆依頼文はできております。これらを含めて、編集委員の皆さんのご尽力を重ねてお願いいたします。

以上